

令和7年度 学校評価アンケート（生徒・保護者・教員）【7月実施】の結果について

1 生徒アンケート結果について

〔回収〕1学年：150名、2学年：137名、3学年：139名

【生徒アンケートの結果から】

○ 生徒自身の取り組みについて

「ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある。」は、学年が進むにつれ「よく当てはまる」の割合が増加している。「難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦している。」の質問に対し、肯定的な回答の割合は約70%を超える。生徒の主体性を大切にした教育活動を実践していることが、このような結果の一つの要因と考えられる。生徒が自覚と責任をもって主体となって取り組む自治活動を促進していく。引き続き、学校行事運営、委員会活動、避難訓練の実施等において、生徒の主体性を大切にした教育活動となるよう進めていく。

○ 生徒自身のことについて

「自分に良いところがあると思う」の質問には肯定的な回答は約80%を超えている。また、将来の夢や目標については、「よく当てはまる」と回答した割合が学年進行とともに増加しているが、各学年「ほぼ当てはまらない」「当てはまらない」と回答した割合が約30%存在し、自身の目標がはっきりと決まっていない生徒が多い。修学旅行や校外学習や総合的な学習での教育活動を検証するとともに、職業調べ（中1）や職場体験（中2）、高校の先生の話聞く会（中3）等、学校外における出会い（専門家等）の機会を大切にし、将来の夢や目標を具体的に意識させたい。

○ スマートフォン等の使用について

インターネットやゲームについては3時間以上の割合が約50%を超えている。携帯電話やスマートフォンの使い方について、家の人と約束したことを守っている割合は生徒全体では約70%を超える結果であった。携帯電話やスマートフォンの適切な使用について、保護者と連携して取り組んでいく。

○ 生徒の学校生活について

生徒の多くが友人関係に楽しさを感じており、学校生活の支えとなっている。一方、「学校に行くのは楽しい」と感じていない生徒が約15%、「相談できる先生がいない」と感じる生徒が約25%存在し、学校への安心感や信頼に課題がある。そのため、授業や活動の魅力向上、教職員との関係づくりの強化、相談窓口の周知と利用しやすい工夫を行っていく。

○ 授業について

生徒の多くが授業を「分かりやすく楽しい」と感じている一方で、自分の意見を発表することには消極的な傾向が見られる。発言の機会や安心して話せる雰囲気は十分でないことが考えられる。そのため、今以上に少人数での話し合いやペア活動を行い、意見を尊重する文化の醸成を行っていく。また、探究的な学習への積極性を高めるために、身近なテーマや生徒の興味関心に沿った授業を行っていく。

2 保護者・教員アンケート結果について（二者比較）

〔回収〕保護者：155 家庭、教員：31 名

【保護者・教員アンケートの結果から】

○ 教育活動について

保護者の回答では、「よくあてはまる」との回答が約 15%とやや低く、「だいたいあてはまる」と合わせて全体的には肯定的な評価が多い。ただし、「まったくあてはまらない」「だいたいあてはまらない」と感じている保護者が 10%を超えており、教育活動の意図や成果が十分に保護者へ伝わっていない。今後は、問題解決力の育成に関する具体的な実践や成果を、保護者にわかりやすく発信することが課題である。そのため、学校だよりや学年通信等の発行回数を増やし、ホームページへ掲載・更新回数を増やす等を行っていく。

○ 子どもの育成について

保護者の回答から、学校が子どもの育成に一定の成果を上げている。特に行事の実施に関しては「よくあてはまる」「だいたいあてはまる」が 98%と非常に高く、肯定的な評価が目立つ。一方で、相談対応や心の教育に関しては「だいたいあてはまらない」「まったくあてはまらない」がそれぞれ約 14%～17%あり、学校の姿勢や対応が十分に伝わっていない。今後は、相談体制や心のケアの取り組みをより見える形で発信し、保護者の理解と信頼を深めていく。

○ 保護者と学校の連携について

学校との連携に対して一定の評価があるが、情報提供や相談のしやすさに課題が見られる。特に「必要な情報の伝達」に関しては「まったくあてはまらない」が 31%と高く、情報の量や質、発信方法に改善が必要である。また、相談のしやすさや要望の反映についても、約 15～20%の保護者が不十分と感じており、学校との距離感を感じている。子どもの育成には、保護者との信頼関係と協働が不可欠であり、双方向のコミュニケーションの充実が必要である。そのため、情報提供の改善策として、学校だより・学年だよりの見直しやホームページの更新頻度や構成の改善を行う。また、保護者の要望の反映として、学校評価アンケートの定期実施と結果の共有や学校・保護者・青少年育成委員会・生徒会との懇談会での意見交流の場を設ける。









